

## 第1章 事業計画 1. 2. 3. 事業の目的及び経緯

【防災面を評価するリスクマネジメントも加えた環境評価を行うことを求めます】

国際博覧会を実施するという観点から、平時の防災面、また火災等の緊急時、災害時の避難、誘導計画などを検証するリスクマネジメントの評価を行うべきです。

特に地震大国であり、なおかつ30年以内に8割以上の確率で発生するといわれている南海トラフ地震の影響を受ける大阪湾岸部に、夢洲は位置します。

このような環境下で、多くの海外を含む観光客が来場する過程上における平時、災害時における環境評価は、国際レベルの環境評価として必須と考えます。

2025 博覧会協会は、現在の国際的なレベルの環境アセスメントをけん引する意味でも災害時のリスクマネジメントも織り込んだ環境アセスメントを実施するべきです。

上記と併せて、自然災害発生時の災害予測をはじめ、火災や交通事故など緊急時の対策、避難計画、誘導計画、避難者に対するサポートなどはどのような計画を持っているのかの回答を求めます。